

みんなの力で男女平等参画・ジェンダー平等を推進しよう

私たち連合岩手は、連合本部に結集し、ジェンダー平等社会の実現をめざしてきました。日本における 2024 年のジェンダー・ギャップ指数は、146 カ国中 118 位と、先進国最下位に位置し低迷し続けています。これを変えていくためには、まず私たち労働組合自らが、男女平等参画・ジェンダー平等を推進していく必要があります。



連合本部では、ジェンダー平等推進計画を策定し、これまでフェーズ1の取り組みを進めてきましたが、それを終了し、2024 年 10 月からフェーズ2に移行しました。連合岩手においては、男女平等参画推進委員会を設置し、本部が定めた計画にもとづき具体的な取り組みを推進してきましたが、これまでの取り組みによって、緩やかではあるものの、個別目標の達成が確認されてきています。フェーズ2では、これをさらに加速させていくため、「フェーズ2達成のためのロードマップ」を確認したところです。

これまでもそうですが、ジェンダー平等推進計画達成のため、連合岩手が、あるいは各地域協議会が取り組むだけでは十分とは言えません。各構成組織、各単組に至るまで、共通した認識のもと、それぞれの組織もまた同様に、全体的に取り組んでこそ、さらに加速していけるものと確信します。

ここに改めて宣言します。

私たち連合岩手、そして各地域協議会は、確認されたロードマップに従い、各構成組織、各単組が一体となり、目標達成にむけ、男女平等参画・ジェンダー平等の取り組みを力強く推進してまいりますので、皆様のご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

連合岩手
会長 伊藤 裕一